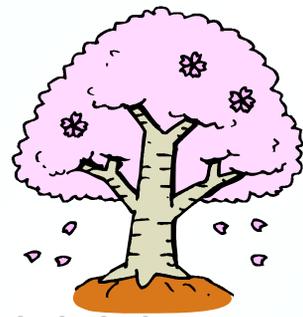


上越総合病院 地域連携センター

〒943-8507 上越市大道福田148-1 TEL・FAX 025-524-3140(直通)

<http://renkei@joetsu-hp.jp> 16号 (2011.4)



## 診療体制の充実についてお知らせ

消化器内科医師の3名から新潟労災病院より合志 聡先生が赴任され4名体制となりました。

合志先生は上越地域において経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)のスペシャリストとして内視鏡治療に従事されており、今後も当上越総合病院においても活躍していただけます。

脳神経外科医師も2名から杉原 崇大先生が赴任され3名体制となり、診療体制が強化されました。

杉原先生には、ご自身の臨床研究を通じて、病・病 病・診 施設等と連携し、認知症や寝たきり予防・治療等、更なる高齢者社会での医療充実が図られることと期待されます。

眼科は佐藤部長の1名体制から藤田 和也先生が赴任され2名体制となりました。

いままで診療受付時間等の制約も余儀なくされましたが、少しは緩和できるのではないかと思います。

歯科においては、桑原 徹先生が歯科口腔外科専門医として赴任されました。

桑原先生は口腔外科的・内科的治療の豊富な経験があり、上越地域の歯科口腔外科領域治療の充実が図られます。紙面をお読みの先生方からの患者様のご紹介をお待ちしています。

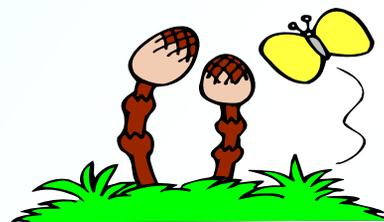
医療機関様からのご紹介のお問い合わせは

地域連携センター

TEL・FAX025-524-3140まで



## 新任医師のご紹介



### 内科 合志 聡

(ごうし さとし)



平成8年、新潟大学医学部卒業、専門領域は消化器・肝胆膵内科です。

同大学細菌学教室に出向し、Helicobacter pyloriの基礎的検討を行いながら、内視鏡検査・治療に従事してきました。内視鏡治療の中でも特にライフワークとしているのが、経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)です。

PEGはその簡便さにおいて爆発的に普及しましたが、作今の超高齢者社会を迎えて、また核家族化が広まることなどの、過去の日本の生活様式が大きく様変わりしていくなかで、その適応が論じられるようになってきました。私はこれまでおよそ800例近い新規PEG増設を行ってきました。その中で経験したことで、PEGの功罪を数多く経験することができました。平成18年から前任病院である新潟労災病院に赴任して、上越地区の消化器内科医としてこの地区の先生方と力強いネットワークを構築させて頂いたと思っております。今後はそれをさらに生かして、上越地区の正しいPEGの普及に今まで以上に 取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

### 小児科 佐藤 紘一

(さとう こういち)



4月から小児科に勤務させていただいている佐藤紘一です。出身は山形県で、出身大学は埼玉医大、卒業後は京都宇治徳洲会病院で初期研修を行い、昨年は新潟市民病院小児科に勤務していました。小児科医としては2年目ですが、上越地域の小児医療に貢献できるように努力しますので、どうぞよろしくお願い致します。

### 脳神経外科 杉原 崇大

(すぎはら たかひろ)



今年度より上越総合病院脳神経外科に常勤医として勤務させていただくことになりました。出身地は石川県七尾市で、金沢大学の学生時代はスキー部に所属していたため、上越周辺でスキーの練習や大会に参加しておりました。大学卒業後は金沢大学脳神経外科に入局し、2年間研修した後、横浜栄共済病院に勤務し、その後大学院にて研究生活を送りました。

研究内容としては糖尿病と関わりが深い老化蛋白である終末糖化産物(AGE)の受容体(RAGE)に

アルツハイマー病の原因蛋白であるβアミロイドが結合し、その動態・代謝における神経細胞障害から守る内在性の可溶性デコイ受容体である内因性分泌型RAGE(endogenous secretory RAGE: esRAGE)の研究をしておりました。4年ほど前より月に1回ほど上越総合病院に非常勤医として継続的に勤務しており、上越地区の皆様にはお世話になっておりました。また上越地区にはお世話になった先生や病院も多数あり、この地で今後は地域連携の臨床医として、周辺の開業している先生方や病院・施設などと連携し、上越地区の認知症や寝たきりの予防・治療を行いたいと思っております。

## 眼科 藤田 和也

(ふじた かずや)



4月より上越総合病院で勤務させて頂いている、眼科の藤田和也と申します。前年は富山大学附属病院で勉強させて頂いておりました。未だ後期研修2年目で富山を出るのも初めてであり土地勘もないのでご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、この上越の地で出来る限り皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 研修医 白石 恭子

(しらいし きょうこ)



4月から上越総合病院で勤務させて頂いている研修医の白石恭子と申します。出身大学は宮崎ですが、実家が上越市春日山町にあることもあって、大学5年生の夏に上越コンソーシアム見学会、大学6年生の春に3日間研修をさせて頂き、是非、上越総合病院で勉強をしたいと思ひ新潟に戻ってくることを決めました。

6年生での病院実習から半年、国家試験から一か月経ち、一度は覚えたことをすっかり忘れていた時が多々あり、焦りを感じることも多い今日この頃です。まだまだ覚えなくてはいけないことが山ほどあると思うと不安は大きいですが、それよりも、自分の希望した病院で研修ができるということに対する期待感でいっぱいです。

研修医としての二年間、いろいろとご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、これからどうぞよろしくお願い致します。

## 歯科口腔外科 桑原 徹

(くわはら とおる)



今年度より歯科口腔外科に勤務することになりました桑原徹と申します。私の父が転勤族で10カ所ぐらいの地を転々とした経験より、転勤のあまりない仕事を選んだはずなのですが、大学のある新潟を起点に名古屋の愛知県立がんセンター、佐渡総合病院、そして妻の実家もある上越にと移動しております。大学病院では、手術における口腔外科的治療から漢方薬をもちいた口腔内科的治療まで行ってききましたので、上越においてもその経験を活かしていきたいと考えております。また、双子を連れての上越ですので、この地でゆっくりと子育ても行っていきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。



医療機関様からの  
ご紹介のお問い合わせは

地域連携センター  
TEL・FAX 025-524-3140まで



研修医 小野 広幸  
(おの ひろゆき)



今年度より2年間、上越総合病院で研修させていただき小野広幸と申します。出身地は新発田で徳島から6年ぶりに新潟に帰ってきました。緊張と不安を抱えながら研修が始まりましたが、先生方はじめスタッフの皆様方の優しさに支えられながら、日々過ごしています。学ばなければならないことは山積がありますが、上越総合病院で研修できることに誇りを持ち、そして喜びを感じ、昨日より今日、今日より明日と、少しずつでも着実に日々進歩していきたいと考えています。

最後になりましたが、上越総合病院を支えておられる先生方はじめスタッフの皆様方、また、上越地域の医療関係者の皆様方、そして地域の皆様方、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

研修医 麻生 祐嗣  
(あそう ゆうじ)



麻生祐嗣と申します。縁あって平成23年4月1日より2年間、上越総合病院で研修をさせていただくことになりました。上越での生活は本日でまだ十日ほどですが、恵まれた環境と地域の人々の温かさに触れ、感動することしきりです。研修医は院内各科を2年間かけて巡ることになります。現在は院内にて救急部の丸山正則先生の丁寧な指導を賜っておりますが、丸山先生のみならず、各科の先生方からも手厚いご指導をいただいております、本院の戸を叩いた自分の幸運を噛み締めております。

医師としても人間としても自分自身の未熟を痛感する日々ではございますが、誠意を持って研修にあたり、少しでも学び残しないように、また少しでも上越の皆様のお役に立てられるようになるため、努力をもって上越での2年を過ごしたいと考えております。最後になりますが、この上越の地で2年の月日を過ごせることを、本当に、ありがたく思います。

どうかよろしくお願ひいたします。



医療機関様からのご紹介のお問い合わせは  
地域連携センター

TEL・FAX025-524-3140まで



薬剤科長 中村 博



4月1日より上越総合病院に勤務させていただいております、薬剤科長の中村博と申します。

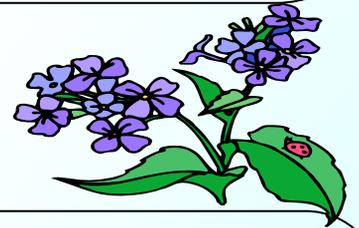
前任地は三条総合病院で、上越地域での勤務は、けいなん総合病院以来10年ぶりとなります。

自宅は長岡市ですので久しぶりの単身赴任となりました。

私たち、薬剤師の業務内容も調剤中心からチーム医療への参画と、多くのものが求められるようになりました。その中で、特に医療スタッフ及び患者様が医薬品を安全に使用できるための情報提供につきまして、さらに充実を図ること。また、ご迷惑をおかけしている外来患者様の待ち時間につきましても短縮するよう努力すること。この2点につきまして重点的に改善を図ってまいります。

おかげさまで、最近では地域の皆様と接する機会も多くなりました、皆様から貴重なご意見を頂戴することもできまして、大変感謝しております。

微力ではありますが、少しでも地域の皆様のお役に立てるように、私をはじめ薬剤員一同さらに努力してまいりますので、よろしくごお願い申し上げます。



栄養科 久我 千代子

この4月より勤務させていただいている栄養科の久我千代子です。

厚生連の病院は県内にいくつかありますが、

その中の、長岡中央・刈羽郡総合病院・魚沼病院・中条病院・上越総合病院と、5病院の勤務経験があります。

当院には、1年半ぶり2度目となります。栄養科が担当する食事については、

個別対応が尊重され、最近では、その内容も多様化しています。治療効果のバックアップができるように、各部門と協力して実践していきたいと思っておりますので

よろしくご願ひします。



医療機関様からのご紹介のお問い合わせは  
地域連携センター

TEL・FAX 025-524-3140まで



# 当科における前立腺癌治療について

## 泌尿器科・部長 里見 定信



高齢化社会に伴い前立腺癌は増加していますが、人間ドックや前立腺癌検診の普及により早期でみつかる前立腺癌の比率が増加しています。

当科においても新病院の開院以来、早期前立腺癌の発見、治療に重点をおいて取り組んでまいりました。

前立腺癌では、PSAという腫瘍マーカーが高値になる場合が多いので、

PSAの値が4をこえる患者様には、積極的に前立腺生検をおこなっています。

毎年約150例の前立腺生検を行い、約40人の前立腺癌患者さんが新たに見つかっています。

当科における前立腺生検は、二泊三日の入院で、肛門より麻酔薬をいれ、経直腸的に前立腺の組織をとるという方法でおこなっています。

腰椎麻酔に比べ少し痛いですが、生検後すぐに食事をとり、動くことも可能です。

治療においては、早期前立腺癌に対し、従来75歳以下であれば前立腺全摘出術を行っていましたが、平成21年9月からは、最新鋭の放射線治療装置を導入し、放射線治療科と連携しIMRTという方法で、手術に匹敵する治療実績をあげており、

患者さんの治療の選択肢が広がりました。

当院では遠方等で通院困難な患者さんの場合、入院での放射線治療もおこなっておりますが、外来通院での放射線治療も可能ですので御相談ください。

なお結石治療においても、本年度より体外衝撃波結石治療室が新設され、月・木曜日の週2回可能となりましたので、お気軽にご相談ください。



# 東日本大震災派遣報告

(H23.4.8~4.10)

副院長 籠島 充



未曾有の震災で、この春はいつものような輝きを欠くように思います。被災した皆様に、心からお見舞い申し上げます。

県の事業の一環で、先日当院も医療救護班を石巻市に派遣いたしました。医師、看護師、薬剤師、事務員の6名でチームを作り、他施設のチームの皆様とともに、避難所の診療や巡回などを行いました。

現地では、石巻赤十字病院を頂点に指揮命令系統（ライン）が確立されていきました。全国から集まった全ての救護班がこのラインに乗って、石巻医療救護チームという有機体の一員として活動する仕組みになっていたのです。災害の規模を思えば、発災後間もなくこのような体制が機能していたことは驚嘆に値します。

被災地の状況は、言葉にできないものでした。そんな中、被災した皆様のニーズに応え、少しでもお役に立ちたいとの思いで勤めました。こちらの思いを押し付けることなく、謙虚であろうとスタッフ同士で約束しました。任務の重さに加え、土地に慣れず渋滞もあって、毎日があつという間でした。濃密な時間でした。

われわれが訪れた避難所に、石巻市民憲章と題した小文が掲示されていました。命を大切に、お互いの絆を深め、ふるさと石巻を愛そうというものです。感動的でした。そのせいでしょうか、石巻の人々はみな逞しく、復興を信じて歩み始めているように映りました。

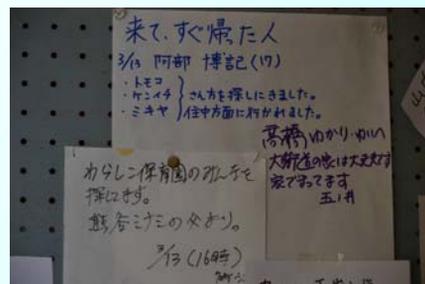
もはやこの国では、いつどこでどんな災害が起きても不思議ではありません。上越地域でも、有事に備えた具体的な対策を用意しておく必要があります。今回の経験を最大限に活かし、地域の皆様のご指導をいただきながら、当院の果たすべき役割を全うしたいと思っています。



派遣先の住吉小学校  
校舎1階は津波被害にあっている  
派遣時は約70名が避難中



住吉小学校診療室（1年1組の教室）  
ライフラインは停止状態



行方不明者を探す掲示板  
（住吉小学校内）

医療機関様からのご紹介のお問い合わせは  
地域連携センター  
TEL・FAX 025-524-3140まで





もうひとつの派遣先の石巻女子高  
ライフラインは復旧していた  
当日は約90名が避難中



石巻女子高内  
診療所の様子



石巻女子高内  
避難所への往診

### 石巻市民憲章

まもりたいものがある  
それは 生命のいとなみ  
豊かな自然

つたえたいものがある  
それは 先人の知恵  
郷土の誇り

たいせつにしたいものがある  
それは 人の絆  
感謝のこころ

わたしたちは 石巻で生きてゆく  
共につくりよう 輝く未来



派遣先周辺  
津波で流された車両



石巻女子高内  
避難所への往診



右上が石巻市立病院  
津波被害の為診療機能は停止



高台から見た  
石巻港周辺



新潟県医療派遣チーム



派遣チームの宿泊先  
当日は佐賀・長野チームと一緒に

上越総合病院 診療科 担当医師

平成23年4月1日現在

内 科	呼 吸 器	外 山 讓 二
	呼 吸 器	諸 橋 数 昭
	呼 吸 器	清 水 崇
	呼 吸 器	岡 島 正 明
	消 化 器	武 井 伸 一
	消 化 器	小 野 知 巳
	消 化 器	古 川 真 一
	消 化 器	合 志 聡
	腎・糖尿病	亀 田 茂 美
	腎・糖尿病	小 川 麻
循 環 器 内 科		籠 島 充
		阿 部 直 之
		吉 江 幸 司
神 經 内 科		福 原 信 義
		鈴 木 隆
小 児 科		上 村 孝 則
		土 谷 修 一
		佐 藤 紘 一
外 科		本 間 憲 治
		藤 田 亘 浩
		小 出 則 彦
		宮 澤 智 徳
脳 神 經 外 科		江 塚 勇
		荒 川 泰 明
		杉 原 崇 大
産 婦 人 科		相 田 浩
	不 妊 内 分 泌 外 来	菅 谷 進
		廣 井 威
		本 間 梨 沙
耳 鼻 咽 喉 科		坪 田 雅 仁
眼 科		佐 藤 昭 一
		藤 田 和 也
整 形 外 科		松 本 峰 雄
皮 膚 科		土 屋 和 夫
泌 尿 器 科		里 見 定 信
救 急 科		丸 山 正 則
放 射 線 治 療 科		江 部 和 勇
病 理 検 査 科		巻 渕 隆 夫
歯 科 口 腔 外 科		桑 原 徹
歯 科		服 部 心 み

上越総合病院 外来診療担当表

TEL 025-524-3000

Table with columns for Department (診療科), Day (月, 火, 水, 木, 金, 土), and Doctor (1診, 2診, etc.). Rows include various departments like Internal Medicine (内科), Neurology (神経内科), Pediatrics (小児科), and Surgery (外科).

※ 第2・第4土曜日は休診日 ※ 診療時間のくわしい内容等は、各科外来にお尋ね下さい。
(受付時間等について) ※午後受付時間 11:45～各科受付終了時間(上記) なお、各外来では安全な診療を確保するため、やむを得ず受付数を制限する場合がございます。